

## 公益社団法人日本ビリヤード協会平成 29 年度事業計画

### 1 組織

資格認定、指導員制度、審判員制度の明文化が必要となります。今年いくつかができましたので、一步前進です。来年度は特に指導員・審判員の制度を進めてゆきます。

### 2 普及事業

協会のアピールとしては適切な運動量と、頭を使うことによる認知症防止、コミュニケーション等があります。現在増えている高級高齢者施設では、入居者のニーズに応える姿勢をとっており、その中にビリヤードも入っているようでいくつかの問い合わせもありました。講師派遣依頼がくればできるだけ協力お願いします。公共の高齢者施設には全撞工の協力でテーブル貸与・贈呈を続けてゆきます。

若年層への普及も重要です。児童館などからオファーが来れば極力受けるようにして下さい。いずれも、一度二度はボランティアでも、度重なるようでしたら本部にご相談ください。多少の補助はできますが、基本は支部としてもやらなければならない事業です。協会所有のミニテーブルは、引っ越し便で送ることができますので、各地のイベントで使うことは可能です。

#### 学校対抗・学生選手権

競技会ではありますが、学生層への普及のため、学校対抗選手権も継続します。かなりの事業支出を伴いますが絶対に続けてゆかなければならない大会といえます

新設の日本学生選手権はフリーエントリーで既設会場で開催しています。来年度以降は協会の最も力を入れる大会のひとつとしてゆきたいと思えます。

### 3 選手強化

2017 年、中華台北で開催されるユニバーシアードにビリヤードがデモンストレーション種目として採用されました。ジュニアオリンピックカップ・学生選手権と連携を図りながら 2017 年に備えます。今後の国際大会は下記のとおりですが、ビリヤードの採用はユニバーシアード以外は決定していません。

2017 アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ トルクメニスタン たぶん中止

2019 アジア大会 インドネシアだが可能性は薄い。

2017 東アジア大会 中止→発展的解消→2019 年アジアユースゲームズとなる

2017 ユニバーシアード 中華台北・・・デモンストレーション競技として採用

2017 ワールドゲームズ ポーランド・・・7月に開催。

#### 4 ジュニア

ここ数年日本のジュニアクラスは層・レベルと共にかなり充実していましたが、その充実したメンバーが徐々にジュニアを卒業し、世代交代を迎えています。このクラスは常に新メンバーが登場していないといけないのですが、全国的に選手層が薄くなっているのが現状です。タレント発掘も協会の重要な仕事であり、また、ジュニアの充実はそのまま普及にもつながります。またジュニア・学生層への普及は体協加盟や地区教育委員会とのつながりが有効な手段であり、組織の発展ともつながりをもってきます。

#### 5 国体記念大会

国体は平成 29 年愛媛まで参加が決定しています。しかし福井・茨城とデモスポ参加が途切れてしまいました。鹿児島からデモスポ再開の予定です。

6 大会開催・・・トーナメントスケジュールによる。

7 大会派遣・・・例年通り世界選手権に代表を派遣。

#### 8 各種委員会

##### アンチ・ドーピング委員会

実際に検査対象となるトップ選手の属する JPBA と JPBF、そして NBA 本部で構成した委員会で活動しています。来年度は 3 大会で 6 検体の検査を予定しています。それにとともなう TOTO の助成は申請済みです。

##### CS 委員会

昨年 3 月より新システムがスタートしました。

##### 助成金審査委員会・選手選考委員会

必要に応じ開催します。

##### 協力金委員会

ほぼ正常に回転しています。システム自体は問題ありません。

##### ルールブック委員会

ルールブック完成後ほぼ解散状態でしたが、ポケット・キャロム・スヌーカーとも経

年による見直しをします。昨本年度ポケットビリヤードのルールを一新しました。来年度はスヌーカーとキャロムで若干の変更をします。製本の予定はありません。

#### 普及指導委員会

普及指導委員会を設置しました。当面は2017年ユニバーシアードと関連をつけ高校を中心に、学校・児童館・高齢者施設にビリヤードを紹介する活動をします。